

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理データ解析Ⅱ		必修 (心) 選択 (社.精)	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
榎木 隆寿	B306	t.masaki	金曜日 12:00~14:30		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉 心理学研究における実験計画法、分散分析を理解する。Excel 等の統計ソフトを使用して、各種統計分析を行うことができるようになる。</p> <p>〈概要〉 心理学研究におけるデータ解析方法、特に分散分析やχ^2検定とその解釈について解説する。様々な研究例とともにこれらの分析方法を紹介し、受講者自身で適切な方法の選択ができるようになることを目指す。また、実際にデータ解析を行うことによって、その理解を深める。 なお、この講義はすべて対面授業方式をとる予定である。備考にある注意点も確認すること。</p>				
学習上の助言	『心理データ解析』や他の統計学の入門講義で扱った基本的な知識（記述統計、相関等）を復習しておくことが望ましい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	はじめての心理統計法（改訂版） / 鶴沼秀行 他 / 東京図書 よくわかる心理統計 / 山田剛史 他 / ミネルヴァ書房				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学研究における実験計画法を理解し、説明することができる。			心(2)	
②	Excel 等の統計ソフトを使用し、各種統計分析を行うことができる。			社・精(2)、心(2)	
③	分析結果の適切な記述、および解釈を行うことができる。			社・精(2)、心(2)	
④	研究目的に合わせて適切な分析方法を選択することができる。			心(2)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	オリエンテーションー心理学における統計学の重要性について学ぶ。	講義・演習	シラバス・配付資料を熟読し、本講義の概要をまとめる。	3.5	
2	Excel によるグラフ作成、各種統計量の算出について学ぶ。	講義・演習	各種方法について整理し、PCを使用して資料の練習問題に再度取り組む。	4	
3	Excel による相関分析、 t 検定の実施について学ぶ。①	講義・演習		3.5	
4	Excel による相関分析、 t 検定の実施について学ぶ。②	講義・演習		3.5	
5	1 要因分散分析（被験者間要因）について学ぶ。	講義・演習		分散分析の各種方法についてまとめ、PCを使用して資料の練習問題に再度取り組む。	3.5
6	1 要因分散分析（被験者内要因）について学ぶ。	講義・演習	3.5		
7	分散分析と実験計画法について学ぶ。	講義・演習	分散分析の特徴、原理について資料をもとに整理する。また、分散分析を適応できる心理学の実験例を考える。	3.5	
8	分散分析の原理について学ぶ。	講義・演習		3.5	
9	分散分析の下位検定（多重比較）について学ぶ。	講義・演習		3.5	
10	2 要因の分散分析について学ぶ。①	講義・演習	2 要因分散分析と交互作用について整理し、PCを使用して資料の練習問題に再度取り組む。	4	
11	2 要因の分散分析について学ぶ。②（交互作用）	講義・演習		4	
12	χ^2 検定について学ぶ。①	講義・演習	χ^2 検定について整理し、資料の練習問題に再度取り組む。	4	
13	χ^2 検定について学ぶ。②	講義・演習		4	
14	ノンパラメトリック検定法、多変量解析について学ぶ。	講義・演習	配布資料の練習問題に再度取り組む。	4	
15	これまで学んだ統計学の知識、手法についての総合的な練習問題に取り組む。	講義・演習		8	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		60	20	0	0	20	100
総合 力 指 標	知識・技術力	30	10	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	30	10	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する。各種統計手法の特徴を正しく理解し、適切な方法を自ら選択、実施できることが必要となる。				学内掲示、オフィスアワー、そして、Microsoft Teams を利用して総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	各テーマ終了時にその内容に関する課題を課し、これを評価する。各課題（計4回実施）には、実際の計算、そして分析結果の解釈が含まれる。				提出された課題については、採点后、返却を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義中における練習問題や質疑応答等への取組みの姿勢・意欲を総合的に評価する。				学内掲示、オフィスアワー、そして、Microsoft Teams を利用して個別にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Excel がインストールされており、インターネット接続が可能なノート PCと、配付した資料を毎回持参すること。ルート(√) 計算機能の付いた電卓(安価なものでよい)も定期試験で使用するので用意しておくこと。</p> <p>実践的授業の内容：架空データだけでなく、実社会のデータ、および講義中に収集したデータも用いて解析を行い、実用的な知識・技術の習得を目指す。</p> <p>※Teams の各クラスで諸事の連絡を行うので確認を怠らないこと。また、全 15 回が登校授業(対面授業)であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</p> <p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p>							